

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)

【公開番号】特開 2019-1817 (P2019-1817A)

【公開日】平成 31 年 1 月 10 日 (2019.1.10)

【年通号数】公開・登録公報 2019-001

【出願番号】特願 2018-169500 (P2018-169500)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/415 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/415 Z N A

C 1 2 N 15/09 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 8 日 (2019.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポチウイルス抵抗性ブラッシカ属 (B r a s s i c a) 植物を選択する方法であって、

(a) 試験ブラッシカ属植物において、

(i) ポチウイルスに対して非機能的である、植物真核細胞の翻訳開始因子 4 E アイソフォーム (e I F (i s o) 4 E) (ここで、前記 e I F (i s o) 4 E が非機能的であるのは、前記 e I F (i s o) 4 E をコードしている核酸が、B r a A . e I F (i s o) 4 E . a 遺伝子座におけるイントロン 1 の 5 ' スプライス部位の + 1 位におけるグアニンの挿入を含む対立遺伝子の結果としてミスプライスされているためである)、

(i i) 配列番号 6 0 のアミノ酸配列を含む e I F (i s o) 4 E . c タンパク質をコードしている B r a A . e I F (i s o) 4 E . c 対立遺伝子、及び、

(i i i) 野生型の植物真核細胞の翻訳開始因子 4 E (e I F 4 E) または e I F (i s o) 4 E の少なくとも 1 つのコピー (ここで、前記 e I F 4 E または e I F (i s o) 4 E の野生型コピーを、植物は使用することができるが、ウイルスは使用することができない)

の存在を検出する工程、並びに、

(b) 前記試験植物を、上述の (i)、(i i)、及び (i i i) の存在に基づいて、ポチウイルスに抵抗性のものとして選択する工程を含むことを特徴とする、方法。

【請求項 2】

前記ポチウイルスが、ターニップ・モザイクウイルスである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ブラッシカ属が、B . オレラセア (o l e r a c e a)、B . ナプス (n a p u s)、又は B . ラパ (r a p a) である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記試験ブラッシカ属植物が、工程 (a) (i) の前記 B r a A . e I F (i s o) 4 E . a 遺伝子座におけるイントロン 1 の 5 ' スプライス部位の + 1 位におけるグアニンの挿入を含む前記対立遺伝子についてホモ接合である、請求項 1 に記載の方法。